

刊夕日九月五



定価 一月五拾五円 三月一拾五円 半年二拾五円 一年四拾五円
 発行所 常磐毎日新聞社 東京市千代田区千代田三丁目三番地
 電話 六三〇三
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社 東京市千代田区千代田三丁目三番地
 電話 六三〇三



「平小唄」の疑惑

及び其措置に就いて

△ 生 投

五月五日の夜だつたか、
 讀書に疲れた身を横たひ、
 徒然のまゝにラヂオのスイ
 ッチを入れた。どうせ隣家
 の無遠慮な雑音に惱ませら
 るだらうと感じては居たも
 のゝ、――其を口にし乍ら耳
 をかたむけたのだ。
 何んでも新潟加治川堤の
 夜櫻賞況放送と、花を賛
 し、情景の美をたゞひ賞し
 て居た。(世はあげてスピ
 ード時代と云ふに、のろま
 な花もあつたものだ、今頃
 咲くなんて――しまい忘れ
 た出店か、買手のない棚ざ
 らしの果實の如き感じた。
 それをまあ、大ぎようら
 しく放送するなんて)と僕
 自身の勝手な歪曲された解
 釋を下して居る時、新發田
 藝妓連の歌謡曲が入つて來
 た。
 聞ひてゐると(何處かで
 は、聞いた様な)と
 感じた。
 「何んだ、あれか」と点頭
 と共に僕の頭の悪るさ加
 減と、記憶力の淺薄さに
 呆れると同時に僕は新發田
 「平小唄」に大きな疑点を持
 つに至つたのだ。

はたして疑点とは何か!
 藝妓連が放送したと云ふ
 歌謡曲の歌詞は何んなもの
 であつたか!
 此等諸點に論究し「平小
 唄」を検討して見たいと思
 ふ。今此處に放送せる「新
 發田小唄」なるものゝ一節
 を抜萃して讀者の御批判を
 乞ふ次第だ。
 へ花は加治川日ぐれの土手
 を、櫻吹雪にぬれ、戻
 りや、まねきますぞよ町
 の灯が、サツサ新發田の
 町の灯が(點條は筆者附
 す)
 これに對し我々は何を考へ
 らせられるべきか。
 花の新川日ぐれの土手を
 さくら吹雪にぬれ、戻
 りや
 まねきますぞえ街の灯が
 サツサ平の町の灯が
 勿論三歳の兒童もよく知
 る、平小唄の一章だ。僕は
 此等兩小唄の對照するに何
 程の相違點を發見したであ
 らうか、むしろ其の發見に
 困却すると共に、試みると
 した困難なる企圖は明らか
 に失敗であり、失敗の後の
 不愉快な感情は僕をして憂

鬱にせざるを得ぬ。
 兩親に贈る言葉(3)
 上村 哲彌
 そしてそれこそは子供に
 よつて父親に對して捧げ得
 られる最高の敬意であり、
 最善の報酬でなければなら
 ぬ。世の父親は、兎もすれ
 ば公私多忙を理由として我
 が子の爲めに時を割くこと
 を吝み勝ちであります。一
 體父親にとつて子供を放り
 出しておいても爲さねばな
 らぬやうな、大切な仕事が
 あるでせうか? 亦あつて
 いゝものでせうか? 私は
 斷じて然らざることを信ず
 るものであります。勿論父
 親の職業、生活や、社會的
 任務は重大事には違ひあり
 ませんが、如何に多忙とい
 つても全然子供の相手の出
 來ないやうな多忙さは決し
 て許容す可らざるものであ
 ります。此の點に於て吾が
 滿鐵の松岡總裁には眞に敬
 服せざるを得ません。滿洲
 には恐らく松岡さんほど多
 忙な人はないことを信じま
 すが彼の多忙な人が殆んど
 毎日のやうに東京の御子さ
 ん方に通信をして居られる
 といふことを聞きます。

是非!

御融通には御用命下さい
 萬事便利な御相談に應じ
 ます

三井質店
 平四電六〇六番

平町南町五二
 婦人科専門 根本 醫院
 電話 三四番
 (入院隨意、手術室完備)

春の
 レンコート
 春のオーバ
 春のセビロ
 御用命を!
 平町四
 正札堂洋服店
 電話四三番

專門
 産婦人科
 花柳病科
 ◎入院隨意
 井坂 醫院
 平町田町 電話五五九番

耳鼻喉科専門
 大和田 醫院
 平町南町一六 電話一七〇番

平 厩 館
 レストラン
 電話 624

吉田眼科醫院
 平紺屋町 電話六八番
 醫學士 吉田久雄

光の春を駈て!
 皆様旅のガイド
 不二の車は待つ
 タクシー不二
 未知ノドライブコース
 オ問合せ下サイ
 電話 32番

昭和人絹

大擴張計畫

男女工大量募集

(既報) 火災の厄に遭つた錦村昭和人絹工場は清水組の手で再建工事がぐんぐん進捗し益々復興の気みなぎつてゐるが同工場では更に従來の製糸工場以外に新たに日産二十噸を目指すソーダ工場を新設近く開始する計畫を樹て、又製糸工場も同様日産二十噸の能力で操業を開始することになつたので七日より今月末迄に五百餘名の男女工を募集、六月上旬乃至七月中旬から活潑に全体的活動を起すことになつた、尚同工場は過般の解雇職工を殆ど同様採用の方針であるが將來は男工二千五百名、女工千五百名を收容して一大飛躍を試みるべく計畫あり再建工場は火防装置の完備した鉄骨コンクリートのモダン建築になる筈である

新縁の香に躍る

明日の磐中陸上運動會

眼新しい番組

磐中の陸上運動會は愈々明日新縁の高月臺上に午前八時から催されるがプログラムの中で本年の目新しいものは登校競走、サックレース、變脚競走、檜廻し競走、千米對峙競走、高月の鯉

呼び物は學童走

組リレー、二人三脚旗送、東海道初上り、高月の鯉野試合、騎馬リレー、模擬演習等何れも興味多く呼物の郡下小學校兒童八百米リレーの豫選は午前十時

繪畫展の

兒童出陳

畫展覽會は明日の陸上運動會の景物として開催されるが平町第一、第二兩小學校よりの出陳兒童は左の如くである

- ▲第一(三年)長谷川直義
- ▲宇田哲雄 長島利治(四年)
- ▲吉田昌八 篠田正雄
- ▲柳下五郎(五年) 柏木洋二
- ▲伊關次郎 馬目英一(六年)
- ▲川上忠 中島恒 田村尚顯▲第二(三年)高木

高値豫想

白米大量申込

平農業倉庫は來る十一日俵米共同販賣を行ふが既記の如く商人の手持米薄から最近米價は高値續きなので十一日の共販は九日現在既に八百三十五俵と云ふ大量申

磐中主催で

女兒の籠球

童のバスケットボール大會を催す計畫を進め優勝旗等を考案中である

解雇職工

斡旋が奏効

平職業紹介所では過般來錦村昭和人絹工場解雇男工の斡旋に奔走した結果關西方面各工場に四家同所長が出張既報の如く百四五十名の開拓をしてきたが來たる十日は午前九時から岡崎市の岡崎レヨン工場から事務員が來所して前記解雇職工並に他の就職希望者に對してテストを行ひ四十五名乃至以上の採用をなすことになつたので紹介所でも喜んでゐる

協定違反

徹底處分

石城鐵工機械同業組合が豫て農林省に申請中の補助並に製品價格協定は近く決定の上七月上旬には認可の指定期が到達するものと見られるが同時に價格協定違反者は徹底的に處分される事となるので組合結束の上から非常に期待されて居る

甘藷栽培指導

合縣土木課長は八日玉川村小瀧鑛泉に木村技師と共に一泊、本九日は四倉町海氣館に一泊して歸郷すると

小名濱を視察

縣大槌町の後藤町長外町議十二名の一行は去る七日小名濱漁港施設視察の爲來郡水産試験場、水産會社等を視察した

平町人事

回出生

- △紺屋町二若松盛次氏二女弘子さん
- △白銀町九當時東京市王子區五十條一〇六五藤島捨雄氏二男信嘉さん
- △播磨小路五猪狩千勝氏四男允さん

回婚

- △宮城縣登米郡米谷町一高泉貞雄氏(二七)南町九二根本公子さん(二三)
- △田町四五宮川知典氏(二八)群馬縣多野郡小野村大字立石二五九小八千代さん(二二)

看護婦急派

求めに應じます

平町南町看護婦會 電話三〇七

福島縣平町二丁目

西村屋藥舖

藥劑師 鈴木堅助
電話 三三番
振替(東京六)二九九一
仙臺一・二〇一

貴方の御家庭に

お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい
直に家政婦派出します

派出多忙に付會員至急募集

平町紺屋町二(電話二二番)

上原家政婦會
會主 産婆 上原通子

お醤油は ヤマフル

福島縣平町



元造醸

鹽屋

電話 二七〇番

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

醤油味噌
たひら正宗
鯉節食料品

出来心の罪から

少年死の家出

手工用ペンチを提出し

同級生に騒ぎ立てられ

好間村大字北好間字一ノ坪同村小學校高等二年生鈴木數男(一)假名は七日學校で手工用のペンチ一個をひそかに持ち歸らんとしたのを同級生が発見はやし立てられて身の置き處なく同日午後一時鐵道自殺する旨の遺書を殘して家出したので家人が心配捜査中

當て無し旅行の

狂者大満悦

飲食店してやらる

お宿は留置場

草野村中根義松(三)は精神に異状を呈しふら／＼あてどなくさまよつてゐるうち何時の間にか双葉郡原ノ町までのして終ひ空腹になつて驛前ひゞき食堂こと多口喜太郎(三)方に入り込みサ一ビスの好いのにつつかり氣をよくして酒肴と遊興したが酔の廻らにつれ態度がおかしく愈々キ印と判り原則署に引渡された

保護者會

總會は十五日

平町小學校保護者會役員會は昨日午後一時から第三小學校に開き總會は来る十五日午後一時から第二小學校

ガソリンの

働きて黒字

平驛で去月中の乗降客は乗車が四十三萬二千八百六十七人で昨年同期より一萬四

赤井嶽復興

淨財三萬圓

九月中に着工する

靈場關御井嶽常福寺の復興は住職旭純榮氏以下の關係者が再建資金寄附募集に奔走した結果三萬圓以上の淨財を得たので愈々九月中に着工する事になった

妊娠三月の美女

鐵路を漂泊ふ

男に背かれて自殺を決心

危い處を警官が救ふ

昨八日夜平町大工町鐵道踏切り地内を徘徊する妙齡の美女あるを平署渡邊巡查が不審と見て本署に連行した

右は赤井村大字赤井字大倉トリ長女猪狩シヅ子(二)假名で本年一月頃から同村驛前大日本窯業株式會社職工三浦健(三)と

今晚の部
後六、〇〇 子供の時間
「第二回なせなせ座談會」
柚木卯馬他
後六、二五 座談會「確氷峠の關跡を語る」群馬縣坂本町古老連 前橋 後七、三〇 舞臺劇 大徳寺 羽左衛門 吉右衛門

他 東京歌舞技座中經 後八、三〇 自作朗讀「小説にあらぬ話」久米正雄
後九、〇〇 時報解説「エチオピアの悲運と歐洲の政局」林毅陸
後九、三〇 時報 ニューメ明日の話題 番組豫告 氣象通報

平窪更生感想 平窪村會では經濟更生指定村としての實績を擧げる爲め男女青年團が聯合して全村から「部落の誇り」「吾が更生体験」と題する感想文を懸賞募集中であるが優秀作品は印刷して全村に配布する筈

明日の部
前九、三〇 子供の時間
うたとピアノ 山形縣大山校児童他
前一〇、〇〇 日曜禮拜
仙臺市東北學院禮拜堂より中繼
前一〇、四〇 講演「日本の湖沼と其生物」上野益三
前一〇、一〇 講演「神代文學の研究」就て一山浦武夫
後〇、〇五 六大學野球試合實況―神宮球場中繼
後〇、五〇 滿洲より一滿洲旅行案内―大連―奉天新京―ハルビン―
後一、二〇 ラヂオコマデ「かなりや軒」飯島綾子
後二、〇五 清元 小曲
清元梅美津他
後六、〇〇 物語「母」向井歌女
後七、三〇 臺灣だより 藩山の夕 霧社―バーラン社男女青年他
後八、〇〇 漫才「極くのんびりと」浮世亭出羽助
後八、二五 長唄「四季の花里」吉住小桃次他
後八、五〇 浪花節―小金井小次郎―木村重友

川部村招魂碑

川部村では過般同村小學校々庭に建立した招魂碑の除幕式を十四日午前十時から舉行

空巢稼

苦もなく捕縛さる

内郷村大字宮生當時住所不定柳沼義衛(三)は七日朝岩瀬郡鏡石村字高久田曲山義榮方留守宅に忍び入り金品物色中歸宅した義榮さんに発見され格闘の末逮捕されて須賀川署に引渡された

大平氏の光榮

濱町字上町材木商大平勳氏は昨日八日帝國水難救済金基金として五萬圓を寄附したが同氏は本年一月にも百五十圓を寄附して名譽會員に推薦されて居るので來月一日の總會には伏見總裁宮御殿に於いて名譽會員章及び有功章を御親授される光榮に浴すると

祭禮客車増結 明日日茨城縣助川町の神峰神社祭禮で乗客増加する見越し平、水戸、上野間に客車の増結を行ふ

裁判所だより

△錦村大字大倉字四反田三人網會社鐵筋工今野安藏(三)が妻の情夫を海軍ナイフで斬付け瀕死の重傷を負はせた事件の公判は今日午前十時半から平支部で中島裁判長係り香西、野木判事陪席、氏家檢察立會の下に開廷事實訊問の後檢事より懲役十ヶ月求刑されたが判決言渡しは来る十三日午前九時

平職業紹介所報告

回 人を求める方
△農夫二〇 五〇才迄 給十圓
回 職を求める方
△鐵工業 廿二才 高卒
△トラック助手 廿四才 高卒
△事務員 十九才 中卒を



（著上） 悟道軒圓玉（作） 丸尾至陽（書）

一一六 岡ツ引の災難・古田主税に井田新之助は岡ツ引がつけてゐるを知つて本田孫三郎、岡田盟と共に青木の屋敷を出た。網を張つてゐた岡ツ引、それ押さへるといつたが人数が多いこつちは二人、こいつはあぶない、はなれたならおさへやうと木影に身をひそめた。早くもそれを見た古田主税に井田新之助ツカノとその前に進み寄り

古「これは何だ、職人がこんなものを持つてゐるか、この繩は何にするか人をしぼるためであらう、今日は貴様たち二人をしぼり上げて一責せめるから覺悟しろ」

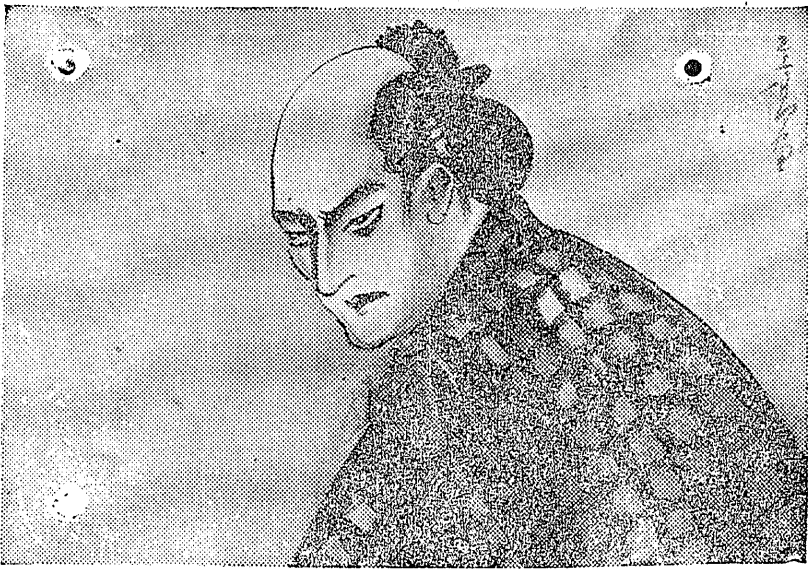
古「貴様たちい犬だな、岡ツ引であらう」と詰められてぎよつとしたが

久「イエ私どもはそんなものではございません、この近所にある職人でございませ

古田に本多はこれを聞いてアハ、と笑ひ

古「そんなことは他の役所でいへ、こゝを何處だと思ふ、青木の屋敷だぞ、貴様達は不淨役人の下をはたらく犬だらう、今その犬の證據を見でやるから神妙にし

といひつゝ古田主税に本多孫三郎は二人の腕を押へると、井田新之助に岡田盟



田主税に本多が二人の背に跨り兩膝にて脇腹をグツとしめつけた、二人は息がとまるやうに苦しい。

行手付の同心だな、その同心が何を貴様達にいひつけた

古「何で貴様たちはこの屋敷をつけてゐる」と問はれて久太郎が

古「これはねえか、いはなければ拷問にかけるぞ、覺悟しろモウ拷問の仕度は出来てゐるんだ」といつたが床下からズル

古「貴様たちは番屋で小泥棒をせめたてたこともあるだらう、その惡戯こゝに報い來たつて賊をしぼる繩で汝がしぼられ、その上この苦しみをやる、因果應報とはこの事であらうか」

久「何卒御勘辨ください、實はあなたがかた豚を斬つた一件につきまして御用便にしようとお屋敷から出るのを網を張つて待つ居りました」

古「さうか、さう判つた上は助けてやる」

久「オオイ五郎藏助けてくれるとよ」

古「助けてはやるが只は助けねえぞ、命代りに右の指を手足共に切つてくれる痛からうが忍耐しろ」

北川外科
平町新川町
院長 北川若夫
電話 四六四

店主が店員	を連れて行	か	正	正	正	平・田町
れる	食	イ	シ	シ	正	レストサロン
行	堂	酒	イ	シ	正	電二五二番
		場	イ	シ	正	

耳鼻咽喉科専門
平田町（電話六九一番）
山内醫院
病室完備 自炊便有
醫學士 山内亨 吉

外科専門
花柳病科
木村外科醫院
自炊入院の便あり
電話三〇九番
平町六丁目橋際

社員採用
固定給參拾圓外手當支給
二十才以上五十五才迄
希望者は履歷書持參本人來談
平町銀治町十八
日本商事株式會社平支部
公債 現物買入 擔保貸附

干やなぎ
美味 鯉鹽から
當店特製
鯉節
魚問屋
榮盛賀志
（番三一電話）目丁四町平